【報告資料】

テーマ「人とヒグマが安心して暮らすために」

設問	意見件数
Q1 野山でヒグマに会わないようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか？	744件
Q2 学校や家の周りにヒグマを近づかせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことなどが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？	749件

報告資料（ほうこくしりょう）のよみ方（かた）は？

どのテーマでも沢山意見（たくさんいけん）をいただいたので、各設問（かくせつもん）で出（だ）された意見（いけん）は、このように掲載（けいさい）しています。

方向性（ほうこうせい）ごとの分類（ぶんるい）

①各設問（かくせつもん）で出（だ）された意見（いけん）を意見（いけん）の方向性（ほうこうせい）ごとに分類（ぶんるい）

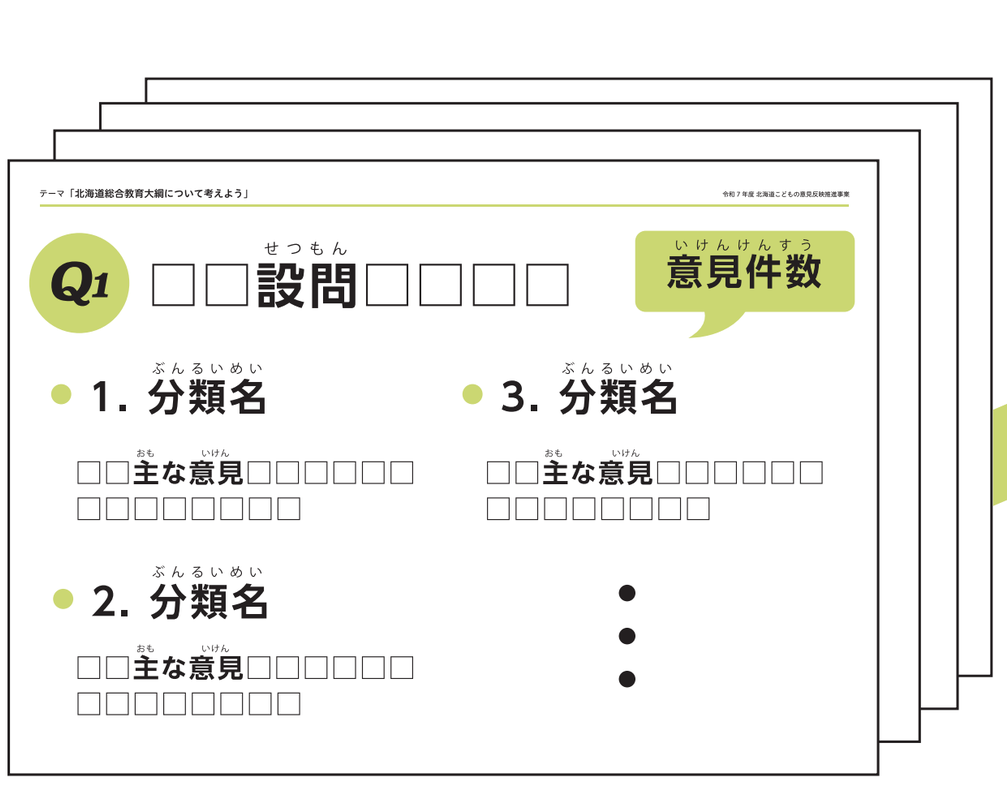
②その分類（ぶんるい）の中（なか）の主（おも）な意見（いけん）を掲載（けいさい）

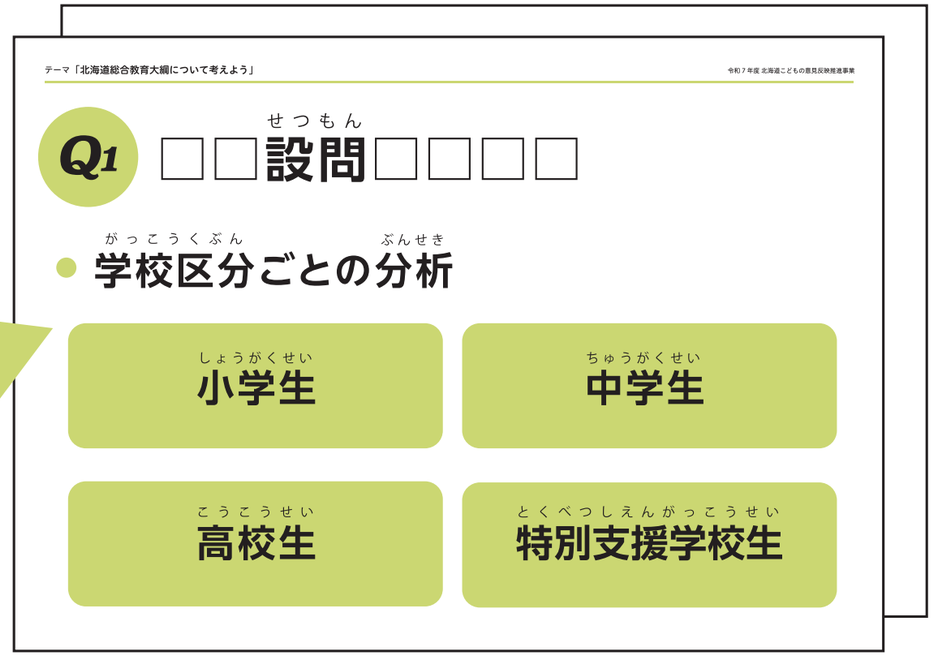
③右上（みぎうえ）に、その設問（せつもん）で得（え）られた意見（いけん）の件数（けんすう）を掲載（けいさい）

学校区分（がっこうくぶん）ごとの分析（ぶんせき）

①各設問（かくせつもん）で出（だ）された意見（いけん）を学校区分（がっこうくぶん）ごとに分析（ぶんせき）

②多（おお）かった意見（いけん）や意見（いけん）の傾向（けいこう）などを読（よ）み取（と）り掲載（けいさい）





Q1 野山（のやま）でヒグマに会（あ）わないようにするためには、どのようなことが大切（たいせつ）だと思（おも）いますか？

意見件数（いけんけんすう） 744件（けん）

1 存在（そんざい）のアピール（音（おと）・光（ひかり））

- リュックなどに鈴（すず）をつける
- 熊鈴（くますず）をつける
- 鈴などの音の出る物を身に着ける
- 音を立てながら移動する
- 大きい音を出してクマを驚かせる
- 定期的に大きな声や音を出す
- 叫びながら歩く
- 音楽とか鈴とか大きな音を鳴らす
- 山の中では爆音で曲を流す
- ラジオを流す
- 夜行く時は光るものをつける
- 懐中電灯を持ち歩く
- 自分がいることをクマにアピールする

2 複数人（ふくすうにん）での行動（こうどう）

- 仲間を連れて行く
- なるべく複数人で行動する
- 団体で行動する
- 大人数で行動する
- 子どもの場合は大人と一緒に行く
- 大人と行動する
- 一人で行動しない
- なるべく一人で野山に行かない
- 二人以上で外出する場合、おしゃべりをする

Q1 野山でヒグマに会わないようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか？

3 情報収集・状況の把握

- 山の情報を調べる
- クマの出現した場所や山を事前に調べる
- ハザードマップ的なのをつくる
- クマの足跡・フンを見たらそこから逃げる
- クマがいる痕跡があったら下山する
- 周りを確認する
- 遠くを見ながら歩く
- よく景色を見る
- 野山に入らない
- 行かなきゃいい
- そもそも山に行かない
- 野山の奥に入らない
- 森の奥やクマのいるような場所には行かない
- 山の中心部に行かない
- 秋には川になるべく近づかない
- 川付近には近づかない
- クマが出そうなところには近づかない
- クマがいる所に看板を置く

4 食べ物・匂い・ゴミの処理

- 食べ物を持っていかない
- 食べ物の匂いを出さない
- ヒグマが好きそうな食べ物は持って行かない
- 匂いの強いものを身に着けない
- 匂いがキツイものを食べたり身に着けない
- 食べ物のゴミを捨てない
- ポイ捨てしない
- 生ゴミや食べ残しを出さないようにする
- 休憩所以外での食事を控える

Q1 野山でヒグマに会わないようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか？

5 対策グッズ

- クマ避けのスプレーなどをつける
- クマスプレーを持っていく
- クマ避けスプレーをばらまく
- クマの苦手な匂い（スプレーのような）をつける
- 唐辛子とわさびを塗りたくってから山に行く
- 武器を持つ
- 鉄砲を持ち歩く
- クマ対策グッズを用意する
- カラーボールや防犯ブザーなど防犯グッズを身に着ける
- 松明を持っていく

6 クマに遭った場合の対応

- 見つけても走らない
- 背中(後ろ)を見せない、後ろにゆっくり下がる
- 自分を大きく見せる、大きく手足を広げる
- 遠くでヒグマを見たら離れる
- クマに近寄らない
- ヒグマと目を合わせながら後ずさりすることが大事

Q1 野山（のやま）でヒグマに会（あ）わないようにするためには、どのようなことが大切（たいせつ）だと思（おも）いますか？

7 防除対策（ぼうじょたいさく）

- クマが来（く）るような状況（じょうきょう）にしない
- 人里（ひとざと）に果実（くだもの）を作（つく）らない
- 電気柵（でんきさく）を設置（せっち）する
- クマと人（ひと）との生活（せいかつ）スペースをはっきりさせる

Q1 野山でヒグマに会わないようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか？

学校区分ごとの分析

小学生

GPSを使ったり道を作ったりするなど、新しい技術や工夫で解決しようとする意見が目立ちます。また、森に食べ物となる木を植えてクマを街に下ろさないようにする優しい考えも多いです。他の学校区分と比べると、人間が自然の環境を変えることでクマを守りながら自分たちも守ろうとする、自由で豊かな発想が特徴的です。

中学生

強い気持ちを持つことやクマの気持ちを考えることなど、自分の心の準備や個人の行動を工夫する意見を大切にしています。クマの動きをよく知り、自分がどう動くかを深く考えています。事前の調べ学習を重視する点は高校生と似ていますが、より自分の考え方や動き方に注目しているのが特徴です。

高校生

ゴミ拾いをルールにしたり建物を強くしたりするなど、社会全体の仕組みで対策をしようと考えています。また、単なる個人の注意だけでなく、大人数での行動や情報をよく調べるといった、リアリティのある計画的な視点が非常に強いです。

特別支援学校生

色や光、音といった感覚を使った分かりやすい対策を重視しています。二人で歩く時はおしゃべりをするなど、誰にでもすぐにできる具体的なルールを考えています。鈴を使うという意見は他の学校区分と共通していますが、看板のデザインや光の当て方など、分かりやすく危険を知らせる工夫に注目している点が異なります。

Q1 野山（のやま）でヒグマに会（あ）わないようにするためには、どのようなことが大切（たいせつ）だと思（おも）いますか？

総合的（そうごうてき）な分析（ぶんせき）

まとめ

よく使（つか）われていたキーワードは、「鈴（すず）」「ゴミ」「食（た）べ物（もの）」「山（やま）」「足跡（あしあと）」などです。すべての学校区分（がっこうくぶん）で、クマを寄（よ）せ付（つ）けないための徹底（てってい）したゴミ管理（かんり）・鈴（すず）やスプレーなどの道具（どうぐ）を使（つか）った身（み）の守（まも）り方（かた）・人間（にんげん）とクマの活動場所（かつどうばしょ）をはっきりと分（わ）けるための仕組（しく）み作（づく）りの3点（てん）に対（たい）して意見（いけん）が多（おお）く出（で）ました。

Q2 学校や家の周りにヒグマを近づかせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことなどが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？

意見件数 749件

1 ポスター・看板

- ポスター(ゴミを食べるクマの絵と「捨てないで」と書かれているもの)や、「STOPポイ捨て!ゴミを捨てるな、持って帰ろう」というポスターを作る
- ポスターを目立たせる（色とかを使って）
- 嫌でも目立つ場所に貼る
- 電柱や塀、ゴミ捨て場、学校、役場など、人がよく通るところや集まる場所に貼る
- 小さい子どもたちにかわいさを使って宣伝する、または怖い感じのポスターにする
- ポスターに理由を詳しめに書く

2 メディア・SNS

- CMをつくる
- 「放置しないでください」というCMを流す
- ニュースで呼び掛ける
- テレビで大々的に放送する
- 体験例や被害にあった事件をテレビで報道する
- 総理大臣が全国に放送する
- 市や町のホームページ、北海道庁の公式YouTube、インターネット、SNSで発信する

Q2 学校や家の周りにヒグマを近づかせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことなどが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？

3 回覧板・連絡網

- 回覧板に「放置するな!」と書く
- 注意喚起の紙などを設置する
- 回覧板の表に「見て欲しい」と書いて内容を見てもらう
- 回覧板をちゃんとみんなに回す
- 町長や偉い人がみんなに言う
- 町長に呼び掛けしてもらう
- 新聞やチラシ、学校のプリント、町の連絡網などで呼び掛けや注意喚起を行う

4 罰則・法律

- 罰金制度をつくる
- 罰則をつける
- ポイ捨てしたら逮捕、罰金の法律を作る
- もし何回もゴミを捨てるようだったら牢屋に入るか家にいなければならない法律を作る
- 生ゴミが放置されていたら罰金を科す
- ゴミ出しを有料化させて減らす

Q2 学校や家の周りにヒグマを近づかせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことなどが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？

5 対策（匂い・音）

- クマが嫌がる匂い(ミントとか)を置く
- クマの苦手な匂いを出す
- 生ゴミにヒグマの嫌いな匂いをつける
- 匂いの強い物を近くに置かない
- 匂いが出ない袋などを使用する
- 袋を二重にする
- 匂いを封印する
- クマの苦手な音を出す
- ゴミ箱にクマの嫌がる大音量スピーカーなどをつける

6 ゴミに関する対策の改善

- ゴミ捨て場に鉄格子をつける
- ゴミステーションをコンクリートで固める
- ゴミ捨て場に鍵をかける
- 金庫をゴミステーションにする
- 森と街の境や山の周りに電気柵をつくる
- 大きい柵を設置する
- ゴミステーションをクマが荒らせないようにする
- ゴミ回収の時間ギリギリにゴミを出す
- 回収日にちゃんと（ゴミ出しを）する
- 生ゴミを回収する車が来るまで生ゴミを放置しない
- 生ゴミを凍らせる
- 生ゴミをつくらない
- ご飯を残さない
- 残飯を肥料にする/燃やす

Q2 学校や家の周りにヒグマを近づかせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことなどが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？

7 危機管理能力の教育

- クマの恐怖を植え付ける
- クマの事件例を具体的に説明し、皆に恐怖を植え付ける
- 授業でクマを取り上げる
- 教育現場でクマの恐ろしさを発信する
- クマに襲われるVR体験をする
- 実際にヒグマとぶつかったらどうなるのか体験する
- クマを使ってアニメ化する
- ゲームで警告（啓発）を行う

8 監視・取締

- 監視カメラをつける
- ドローンのような動くカメラでポイ捨てしないように人々を監視する
- 不法投棄の監視
- ゴミ監視課をつくる
- 町内会で家々にゴミをちゃんと捨てたか確認する

Q2 学校や家の周りにヒグマを近づかせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことなどが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？

9 お金・景品

- ゴミを捨てなかったらお金がもらえる
- ちゃんと捨てたらお金がもらえるようにする
- ポイ活にする（ちゃんとゴミ置き場に捨てたらポイントがもらえるなど）
- ゴミをきちんと出したらプレゼント
- 可愛いシールがもらえる
- ゴミ拾いマラソンを開催し、拾ったゴミの量に応じて景品がもらえる

Q2 学校や家の周りにヒグマを近づかせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことなどが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？

学校区分ごとの分析

小学生

AIやVRなどの最新技術を使ったり、総理大臣に呼びかけてもらったりするスケールの大きな提案が目立ちます。また、厳しい罰則を求める一方で、ゲームのように楽しめる解決策も提案しています。他の学校区分に比べ、科学や大人の力で環境を大きく変えようとする、小学生らしさがある力強い発想が特徴的です。

中学生

ポスターやCM、SNSなどを使って、情報をどう届けるかという伝え方を非常に重視しています。クマの怖さをリアルな映像で見せ、自分事として考えてもらう工夫をしています。他の学校区分と比べると、回覧板や近所への声かけなど、地域での心のこもったつながりを大切にする意見が多く出ました。

高校生

法律の改正や学校の授業、ポイント制度など、社会の仕組みを元から変えるための提案をしています。アプリの活用や科学的な分析など、専門的な視点も目立ちます。他の学校区分と比べて、個人の注意だけに頼らず、制度や教育を通して社会全体で計画的に取り組もうとする、大人びた現実的な考えが特徴です。

特別支援学校生

金庫のようなゴミステーションや鍵、監視カメラなど、具体的で確実な効果がある対策を求めています。ルールを守った時のご褒美や、守らなかった時の罰など、結果が分かりやすい仕組みを大切にしています。他の学校区分と共通する点は多いですが、特に対策がシンプルで、誰にでも取り組みやすい方法を重視しています。

Q2 学校や家の周りにヒグマを近づかせないようにするためには、生ゴミなどヒグマのエサになるものを放置しないことなどが大切ですが、どうすればみんなに気をつけてもらえると思いますか？

●総合的な分析

まとめ

よく使われていたキーワードは、「ゴミ」「ポスター」「罰金」「法律」「ニュース」などです。全体を通したこどもたちの声は、生ゴミを厳しく管理するためのルールや法律を作ること、最新技術やSNS、有名人の力を借りて情報を分かりやすく伝えること、そしてゴミ箱に鍵をかけるなどの物理的な対策を強化することにあります。